



2014.11.9 七五三

「今日ダビデの町で、あなたがたのために  
救い主がお生まれになった」

助任司祭 フック神父

ルカによる福音書では、救い主イエス・キリストがベツレヘムで生まれた時に、主の天使たちが次のように告げ知らせてくれました。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられた大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである」(ルカ2・10・11)と。空間的には、この「大きな喜び」のメッセージはベツレヘムに広まり、それを超え、あまねく世界に渡り、そしてわたしたちの一人ひとりのところに届いています。時間的には、古代ローマ皇帝アウグストゥスの治世の時代から、様々な試練に耐え忍んで、21世紀の今日を迎えて、また主が再び来られる時まで、教会は変わるところなく、その救い主が与えられたという「大きな喜び」を絶えず知らせ続けています。

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった」というメッセージの中で、三つの単語に注目したいのです。それは「ダビデの町で」と「あなたがた」と、そして「今日」ということです。まず「ダビデの町で」ということは歴史の中で、ユダヤのベツレヘムというダビデの町でキリストが地上に現れたという事実を表します。次に「あなたがた」という呼びかけられた相手は、過去にメッセージを受けた羊飼いたちを指します。しかし、今日ではこのメッセージに耳を傾ける時に、その「あなたがた」はわたしたち自身です。最後に、「今日」というのは聖書の文脈の中で、イエスが生まれた時、つまり「すでに」という過去の出来事を指します。と同時に「今だ」という現在の表現でもありま

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(in the Marian Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

2014年度12月7日

司祭団より

東京オペラ協会から、1月以降に「オペラ 高山右近」の公演を大聖堂でしないかとの打診があった。費用は東京からの20名ほどの規模で交通費程度でとの話であるが、交通費のみでも40万円ほど掛かるかもしれない。↓予算的にどうか？具体的な経費見積もりを聞いて献金をつのるなどアイデアを考えて、時期・予算を今後検討する。

報告・連絡事項

教会バザーで残った商品の配布先について (マリア会)

新品コーナーで残った商品は樹(いつき)の会の手配により、麦の穂学園、岐阜ダルク、スマイルプラス(シェルター)の3ヶ所に配布された。また、瀬戸教会のバザーにも一部寄付。

刈谷教会へのバザー収益からの献金について (運営委員会)

フイリッポ司祭より感謝状が届き、聖堂入口の掲示板に掲示してある。

30万円の献金がステンドグラス

になり、ステンドグラスの下に南山教会の名前が入る。

12月18日にステンドグラスが新聖堂に設置され、献堂式は、11月11日13時の予定。

パイプオルガンの修理状況について (オルガン管理委員会)

詳細は別紙資料添付。

11月14日にパイプオルガンの修復が無事終了し、望月オルガンから運営委員会で作業報告書が送付されてきた。オルガンのオーバーホールと共に、オルガンケースとフロントパイプの耐震工事も施行した。工事の際に南山教会のローリングタワーを使用したことにより、10万8000円の足場代割引があり、最終支払い額は442万8000円であった。

オルガンの音色も良くなり、ミサの後奏での曲の選択がひろがった。

1月18日 司教を囲む新年の集いについて (信徒協)

聖堂玄関にお知らせを掲示してある。

布池教会にて1月18日14時から司教様のミサがある。16時から三河ブロック担当でパーティーがある。成人の祝いも兼ねているので、南山の成人の方も積極的に参加してほしい。

その他

11月にマリア館の女子和式トイレで立ち上がれない方がいらつしやった。教会内で手すりのついていない和式トイレがあるので今後順次設置していく。できれば大規模改修を行うときに和式トイレは全て洋式に交換したい。カトリック会館南側玄関のドアクロザーを交換した。

審議・相談事項

12月24日、25日のクリスマスへの対応準備

典札とミサ当番、駐車場係への対応、パーティー準備 他

各会準備は順調に進んでいる。引き続き準備を整えていく。

パーティーに関しては料理が集まる。それ以外に昨年は予算5万円のうち1万8千円ほど使った。

駐車場の手配は松浦さんが行う。可能ならばテニスコートの照明をつけさせてほしいという依頼をする。

12月31日と1月1日のミサの段取りを確認した。

教会周辺の清掃、ストーブ出し、クリスマスツリー出し、告解台の準備等の呼びかけについて (運営委員長)

種々の教会活動、例えば、ス

トーブ出し、片付け、教会美化、周辺清掃、；等の呼び掛けは、正副運営委員長のどちらかが行うのが妥当と考える。

具体的に活動していただくのは、信徒であり、彼ら、彼女らをガイドするのは、ヨセフ会であったり、マリア会であったり、他の活動団体であったりする。

勿論、それぞれの団体の中での意思疎通を図り、それぞれの活動への協力は、惜しまないようにしたい。しかし、ご高齢の方、体調の悪い方への強制は避けたいと思う。

来年度各会予算案提出について (伊藤財務委員長)

各会からの予算要求の期限を案内し、増減の予定があれば発表いただきたい

12月中に各会から売店事務所に知らせてほしい。削減して頂ければありがたい。増額の場合は主任司祭にご相談を。

納骨堂関連、平針教会への移管手続き、消臭剤の購入について (納骨堂管理委員会)

八事の半田教会との共同納骨堂を12月1日付で覚書を取り交わし、正式に平針教会に移管をした。

平針教会の主任司祭より、南山

教会へのお礼のお手紙を頂いた。  
ヨセフ館納骨堂について、各納骨壇に消臭・殺菌のために消臭剤を購入したい。納骨壇の数分の薬剤購入で18460円掛かる。  
↓承認。

**各会報告**

**典礼委員会**

11月2日 14時 大聖堂にてヨセフ館納骨者のための追悼ミサ  
11月9日 七五三の祝福  
11月23日 入門式  
11月29日 教区典礼委員会  
11月30日 ツリーと告解台の準備を実施。お手伝いくださった方々に感謝。

侍者会を開催。17名の参加があった。  
12月7日 宣教地司祭育成の日にあたり、9時30分のミサを神言神学院と共に捧げた。

12月13日 14日 共同回心式  
12月24日 16時・20時・24時ご降誕前夜ミサ  
12月25日 7時・10時日中のミサ  
12月31日 19時主の降誕ミサ  
1月1日 23時新年を迎える感謝ミサ  
10時 神の母聖マリアのミサ・新成人の祝福

**中高生会**  
11月8日(日) 秋の遠足は雨天のためモリコロパークのスケート場へ行った。

12月21日(日) 昼食後、高齢者施設「さくらいふ池場(天白区)」訪問。16時南山教会解散予定。

**ボーイスカウト**

12月14日(日) 13時30分〜16時 マリア館ホールにてクリスマス会  
1月11日(日) 10時30分〜12時 つき大会  
南山教会中庭にて新春もちつき大会  
1月23日(金) 20時〜25日18時 スキー訓練 朴の木平スキー場

**青年会**

12月14日(日) 14時〜 集まり  
1月25日(日) 14時〜 集まり

**中高生保護者会**

1月25日(日) 10時45分からマリア館ホールにて教会学校リーダー伊藤恭輔氏をお招きし講演会を開催する予定。

**信徒協(宣司評)**

「司教様を囲む新年の集い」は、2015年1月18日(日)に14時より司教ミサ、16時よりパーティーというスケジュールで実施される。会費は500円、世話役は三河ブロックが担当する。  
なお、この集いは新しく成人を

迎える方々のお祝いも兼ねるので、南山教会の新成人15(14)名はこの集いに招待される。  
**教会学校**  
12月14日 聖霊病院へクリスマス訪問  
12月21日 9時半ミサ後、大聖堂にてクリスマス劇

**レジオマリエ**

神の母聖マリアプレゼンティウム 集会千回記念の小冊子発行予定。  
次回は1月4日

**新年餅つき大会**  
日時：2015年1月11日 9時半ミサ後  
場所：教会中庭  
きな粉餅、あんころ餅、雑煮などおいしい餅を料理できます。どなたでも挑戦できそうです。  
主催：ボーイスカウト



**マリア会遠足**

実りの秋、マリア会では今年度の主な行事を会員の皆様のご活躍により無事に終えることができました。その感謝と慰労を兼ねて、11月14日恒例の遠足に行ってみました。



桑名教会を訪問し、この日のためにチェリストの天野武子さんがアヴェ・マリアを演奏してくださいました。  
円形の御聖堂に響き渡る音色が私達の心に深く共鳴し一つの祈りとなり、素晴らしいミサにあずかることができました。

その後皆一緒に歌行燈の舞台で知られる老舗旅館であったレストランTHER FUNATSUYAでは、お店のお心遣いで思いがけず豪華なお食事を頂き、近くの六華苑では重要文化財となった諸戸邸を見学。最後に道の駅月見の里を無事に過ごすことができました。  
紅葉には少し早かったのですが皆様の笑顔が何よりでした。事務室の小林さん、榎原さん、大変お世話になりました。  
※バザーへの寄付金として、新たに7250円が寄せられました。

## 4・聖体の秘跡

キリスト者の生活における聖体の秘跡の重要性を、少しでも意識するために、聖ルカが使徒言行録に描いた初代教会の生活を思い出す必要があると思います。「ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。」（使2・41・42）それは、イエス・キリストの昇天と聖霊降臨の少し後、紀元後33年中ごろのことです。その時は、新約聖書となった福音書もパウロ書簡も他の書物も何一つ存在していませんし、教会の制度も、あまり発展していません。けれども、聖ルカが伝えているように、もうすでにパンを裂くこと、つまり現代の言葉で言えば、聖体祭儀が行われていました。それを見ると、聖体祭儀は、新約聖書よりも古いものであるということが分かります。さらに、新約聖書は、教会によって造られた



が、キリストのからだである教会は、キリストのからだである聖体によって造られた、少なくとも、聖体によって養われ、成長させられたということが言えるのではないかと思います。

イエス・キリストは、救いのわざの中心的な出来事となつたご自分の受難と十字架上の死のために、弟子たちの心を準備させたように、聖体の秘跡を与えるためにも、行いと言葉を以つて弟子たちの心の準備をさせました。聖体についての一つの「講話」は、聖ヨハネによる福音書の6章に書き記されています。この話しを聞いた多くの弟子は、次のように言いました。「実にひどい話だ。だが、こんな話を聞いていられようか。」（ヨハ6・60）そして、このようにイエスの言葉につまずいた「弟子たちの多くが離れ去り、もはやイエスと共に歩まなくなった。」（ヨハ6・66）ということです。イエスの弟子たちのこのような反応に基づいて、教会が次のように教えます。

「受難の予告が弟子たちをつまづかせたのと同様に、聖体（エウカリスチア）に関するイエスの最初の予告は弟子たちを分裂させます。・・・聖体と十字架とはつまずきの石です。同じ神秘であつて、つねに分裂の要因となるものです。」（カトリック教会のカテキズム1336）

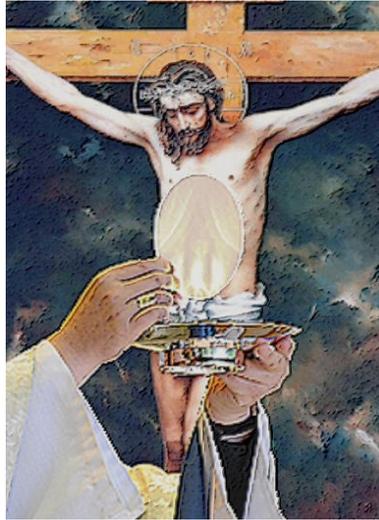
聖体のことを話したら多くの弟子たちがつまずいて、離れてしまうということが分かってからも、イエスが聖体の話しをされたのは、きつとそれがご自分の受難と十字架上の死と同じように非常に重要なことであつたらに違いないと思います。

イエスは、ご自分のことを「命のパン」と呼んでから、弟子たちに次の約束を与えてくださいました。「あなたがたの先祖は荒野でマンナを食べたが、死んでしまった。しかし、これは、天から降つて来たパンであり、これを食べる者は死なない。」（ヨハ6・49・50）イエスが、イスラエル人たちが40年間の荒野での旅の時に神から与えられたマンナを食べても

死んでしまったことを思い起こしたのは、この食べ物によって養われたために約束の地に辿り着きましたが、約束の地は救いそのものではなく、救いの前表に過ぎないものであるということを教えるためでした。真の救いとは、この世のなんらかのものではなく、永遠の命、つまり、神の命に参与して、永遠に神との愛の交わりに生きるということです。約束の地が永遠の命の前表であつたように、神が与えてくださったマンナは、これからイエスが与えてくださる「命のパン」の前表でした。マンナが、約束の地に辿り着くことを可能にしたように、「命のパン」は、永遠の命を受け入れること、つまり、神の命にあずかり、神との愛の交わりに生きること、最終的にこの交わりの完成によつて神と一体になることを可能にするのです。

おそらく、イエスが「わたしは、天から降つて来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。」という言葉にとどまらなかったならば、ユダヤ人がつまずかなかつたでしょうが、「わたしが

与えるパンとは、世を生かすためのわたしの肉のことである。―(ヨハ6・51)という言も不思議ではないでしょう。一葉を付け加えたので、つまり聞いたのでしよう。さらに、彼らが聞き間違ふことなく、ご自分が言われたことをよりはっきりと分からせるために、次の言葉を宣べられました。「はっきり言っておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。―(ヨハ6・53・54)つまり、弟子たちが永遠の命にあずかるために、イエスはご自分自身の体と血、すなわちご自分自身を食べ物として弟子たちに与えることを約束されたわけです。



人間の肉を食べないし、血は命そのものであって、最も神聖なもの、命の主である神に返すべきものであると固く信じて、人間の血だけではなく、動物の血も絶対に飲まず、それを必ず神にささげたユダヤ人が、イエス

スの言葉を聞いてつまづいても、結果的にイエスから離れても不思議ではないでしょう。一方、十二人の使徒をはじめ、イエスのもとにとどまった弟子たちが離れなかったのは、イエスの言葉を理解したからではなく、今分からなくても、非常に変わった言葉だと思っても、イエスを信頼して、いつか分かるであろうという希望と、どんな

形になるかが分からなくても、イエスが与えてくださる命のパンを食べて、イエスの約束通りに永遠の命にあずかるだろうという希望を持ったからでしょう。

カトリック教会が教えているように、聖体と十字架とは同じ神祕です。実際に、イエスの人

生全体について同じことが言えますので、聖体のことを理解するために、イエスの人生を全体的に簡単に見てみたいと思います。イエス・キリストは、洗礼者ヨハネから洗礼を受けて、父である神によってメシヤとして遣わされた時から、絶えず罪人の間におられて、彼らに対するご自分の態度、ご自分の行いと言葉によって、彼らに対する神の愛を現し、彼らを神のもとへ、神との和解へと導いてくださいました。イエスは、このようにご自分の人生を神から離れている人のためにささげましたので、ご自分自身、つまりご自分の命、ご自分の体と血を罪人の手に引き渡したと言えます。イエスを信じて、イエスを受け入れた人、イエスに従った人が大勢いましたが、イエスの活動のために、自分たちが執着もつていた生き方と共に、いろいろの特権を失うのではないかと心配していた権力者たちは、イエスを妬んで、イエスを殺そうとしていたのです。神から一番離れていたこの人たちに逮捕されて、不正な裁判の結果として、死刑の判決を下されても、ご自分

分の体と血を罪人の手に引き渡したイエスは、この奉獻となったイエスの人生は、今日に至るまで、また、これからも世の終わりまで、すべての人にとって、永遠の命の源になっています。

実は、私たちは聖体の秘跡にあずかること、つまり、「イエスの肉を食べ、イエスの血を飲む」ことによって、イエスがご自分の生活と死によって成し遂げてくださった救いの恵みを受け入れ、永遠の命を得るのですが、それについては、次回に語りしたいと思います。

名古屋教区典礼研修会のお勧め

名古屋教区典礼委員会 新内飛鳥

来る2015年2月11日(水)南山教会マリア館で第41回目を迎える名古屋教区の典礼研修会が開催されます。ご存じ南山教会の協力司祭でもある神言会司祭、ブレンダン・ケレハ委員長(名古屋教区典礼委員会)の指導のもとブロック代表の委員たちは自己研鑽しつつ研修会の準備に励んでいます。

今回準備している研修は、聖堂玄関のポスターにもあるように、典礼とりわけミサに於ける様々な奉仕について所作、動作、意味を掘り下げ、その多様性と可能性についても探ってゆきます。価値ある研修としてお勧めします。

普段典礼奉仕に携わっている皆様はもとより、典礼奉仕には関わりがなくても興味があるという方、どなたでも歓迎します。しかも参加費用は500円とお値打ちです。これは、もう参加するしかありません。

**第41回名古屋教区典礼研修会**

2015年2月11日(水)  
 南山教会 マリア館 2Fホール  
 講師 ブレンダン・ケレハ 司祭  
 9:30 受付開始  
 10:00 開始  
 13:00 ミサ  
 16:00 終了  
 申し込み FAX052-836-2253(南山教会)  
 問い合わせ 052-831-9131(ケレハ神父)  
 E-mail: hloas@nandic.jp  
 URL: nandic.jp/

ミサは誰のもの?  
奉げるのは誰でしょう。



カトリック教会のカテキズムより

1395 エウカリスチアは、わたしたちのうちに愛を燃え立たせることによって、わたしたちが今後大罪を犯さないように守ってくれます。わたしたちは、キリストのいのちにあずかり、キリストとの友愛を深めれば深めるほど、キリストとの交わりを断ち切る大罪から守られます。エウカリスチアは大罪をゆるすためのものではありません。大罪をゆるすのはゆるしの秘跡です。エウカリスチアは、教会との完全な交わりを保っている人々のための秘跡です。

# 南山句会

平成二十六年十一月十二日



吾前を導くごとし秋の蝶

佐和子

ミサの鐘余韻消えゆく翺雲

紀子

そぞろ寒テレビ体操加わりぬ

とく子

秋茄子オリヴに良し酒もよし

眞名子

初雪の天衣かるやか富嶽なる

義子

死者の日の取り次ぎ祈る秋の雨

聖子

ベビーカーはみ出す腕秋日和

豊子

鐘の音のアシジに高く諸霊祭

せつ子

過去未来かわりゆく日々障子張る

美智子

眠られぬ夜のためこそ秋の虫

眞喜子

毎月第二水曜日 午後一時半

マリア館二階集會室

## 信者の消息

### 受洗

おめでとうございます

ステファン <sup>いとう ひろと</sup> 伊藤 大翔  
 ヨハネ <sup>すずき こうき</sup> 鈴木 光希

### 結婚

♡ お幸せに ♡

パウロ <sup>かのう りょう</sup> 加納 諒 (平針教会) ♡ <sup>おくむら ゆき</sup> 奥村 有希

### 帰天

ご冥福をお祈りします

11月21日 ルチア <sup>かわせ きょうこ</sup> 川瀬 恭子 (71歳)  
 11月22日 マリア <sup>みやがわ ちえこ</sup> 宮川 智恵子 (90歳)

### 転出

いつまでもお元気で

アグネス・マリア <sup>もりうち もとむら みゆき</sup> 森内 (本村) 深雪

### 転入

ようこそ

マリア <sup>なかた みや</sup> 中田 美綾 (逗子教会)  
 アグネス <sup>うえば みどり</sup> 上羽 緑 (月寒教会)  
 ペトロ 平野 克典 (J-Hearts Church)  
 マリア 平野 みな (日本バプテスト四日市教会)

### 教会維持費

11月は923.100円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りします。

## 2014年12月・2015年1月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	8(月)無原罪の聖マリア 25(木)主の降誕 28(日)聖家族	3(月)フック師霊名の祝日 13(土)14(日)共同回心式 24(水)主の降誕の前夜ミサ 16:00,20:00(日英合同),24:00 21:30クリスマスパーティ 25(木)主の降誕ミサ 7:00,10:00,19:00 31(水)23:00旧年感謝ミサ・新年の祝福	5(金)マリア会例会(懇談会) 7(日)11:00運営委員会 13(土)子ども部屋クリスマス会 14(日)典礼委員会 14(日)ヨセフ会班長会 14(日)ボーイスカウトクリスマス会 21(日)教会学校クリスマス会 27(土)要約筆記付きミサ	4(木)司祭協議会 7(日)宣教地司祭育成の日(献金)
1月	1(木)神の母聖マリア・世界平和祈願日 4(日)主の公現 11(日)主の洗礼	1(木)10:00新年平和ミサ・成人式 (日)管区に予算書提出 18(日)子どものミサ	4(日)1:00 運営委員会 4(日)教会学校・中高生会始業式 9(金)マリア会新年会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)10:30子ども部屋 18(日)典礼委員会 24(土)要約筆記付きミサ (日)ヨセフ会新年会	1(木)世界平和の日 15(木)司祭協議会 18(日)~25(日)キリスト教一致祈禱週間 18(日)信徒協「司教を囲む新年の集い」 25(日)児童福祉の日特別献金

「今日ダビデの町で、あなたがたのために  
救い主がお生まれになった。」

ルカによる福音2. 11

イエス・キリストの誕生のお祝い



# クリスマスミサのご案内

## カトリック南山教会

### ご降誕前夜ミサ

12月24日(水) 16:00; 20:00; 24:00

### 主の降誕ミサ

12月25日(木) 7:00; 10:00; 19:00

### 年末年始ミサ時間

旧年感謝ミサ: 12月31日(水) 23:00

(ミサ後聖体礼拝と新年の祝福を行います)

新年ミサ(成人式): 1月1日(木) 10:00

カトリック信者でない方も、ミサに参加することができます。